

学校と家庭とをつなぐ「地震対応マニュアル」

南アルプス市立八田小中学校 R1現在

八田小中学校では

大規模地震（震度5弱以上）発生後 ⇒生徒の引き渡しを行います。

※地震発生後の被災状況により、生徒の安全を最優先する上で、変更となる場合もあります。

① 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発表された場合

◆南海トラフ沿いで異常な現象を観測した場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価した場合等に、「南海トラフ地震に関連する情報」の発表が行われます。その場合は、以下のような対応をとります。

ア) 通常授業とし、南海トラフ地震に係る情報収集に努めます。

イ) 状況により下校させる場合は、安全な場所に生徒を地区ごと集合させ、担当教師の付き添いのもと集団下校をさせます。

ウ) 留守家族生徒は、学校等において保護し、保護者の来校を待って引き渡す場合もあります。

エ) 登下校中に発表があった場合は、以下の行動をとることとなります。

①ブロック塀、橋、歩道橋等危険箇所から離れる。

②学校あるいは自宅のいずれか近い方に急いで避難する。

③留守家族生徒は、できるだけ学校に集合する。

オ) 授業終了後に発表された場合は、学校が情報収集に努めるとともに、保護者との連絡体制を確保し、翌日からの授業は、状況に変化がなければ通常通りに行う。

② 引き渡しが必要な場合

◆情報は、ラジオ等マスコミ・市の防災無線等により報じられます。基本的に学校からは連絡しませんが、メール機能・防災無線が使用可能であれば、その旨一斉配信をします。

◆学校と関係諸機関との連絡のため、学校への電話による問い合わせはご遠慮ください。

◆緊急車両への妨げ防止や安全確保のため、自家用車での迎えは極力ご遠慮ください。

◆地震の大きさ・被害の状況により、学校が避難所となりますので、その状況により対応は変わります。

1 登校前の場合

登校させないでください。

2 登校後の場合

すぐに引き取りに来てください。保護者の方は、担任より引き渡しカードにチェックを受け、お子さんを引き取ってください。保護者等が引き取りに来られるまで学校で保護していますが、学校での長時間の保護には無理がありますので、可能な限り早目に引き取りに来てください。

3 登下校中の場合

・かばんや本などで頭部を保護し、「塀のそば」「建物のそば」から可能なら速やかに移動、ゆれがおさまるまで待機する。

・家か学校の近いと思われる方に避難する。学校に避難したときは引渡しとする。

4 日帰り・宿泊学習の場合

原則としてすぐに帰校の処置をとります。しかし、状況にもよりますので、学校からの連絡をお待ちください。（メール、家の電話、防災無線などを考えています。）

③ 震度4以下の地震発生時

◆原則として通常どおり授業を行います。状況により、集団下校または複数下校をする予定です。

ご家庭で、普段から心がけておいてほしいこと

1 保護者が引き取れない場合、祖父母や親戚、友人の保護者等への依頼も事前をお願いします。

2 各家庭で、大きな地震が発生したり、注意情報が出たりしたときには、それぞれがどのような対応をするのか、子どもと一緒にじっくりと話し合い確認しておいてください。

・外にいるときはすぐに帰る。 ・防災用具を持ち出しやすいところに置く。

・避難場所や連絡方法を確認しておく。 など